

音羽川小学校の概要

- * 昭和55年4月5日に音羽中学校の跡地施設をそのまま転用し、音羽小学校の分校として独立、開校となる。

校名の由来

- * 学校の南側を流れる音羽川は、音羽山の山中より源を発し音羽に至って四の宮川に合流している、山科では由緒ある川の名を取り入れて、音羽川小学校と名づける。

校章の由来

- * 中心に頭文字の「音」を配し、両翼に未来に希望を持ってはばたく二枚の『羽』が広がり、縦には清水の「川」をあしらい校名を象徴する。

通学の区域

- * 北は、旧国道1号線の南側
- * 東は、地蔵道の西（音羽小学校の前まで）・国道1号線の西（音羽小学校の南側より）
- * 南は、音羽川の北
- * 西は、四の宮川、外環状線より東側
という主要な道路に囲まれた交通の要衝に位置している。

学校の沿革

昭和55年 4月	1日	音羽中学校の跡地施設を音羽川小学校として転用（創立）
	5日	音羽川小学校創立の式典を挙行する。（創立記念日）
	8日	第1回入学式を挙行する。（入学児童数 136名） 学級数 21学級・育成学級1学級 計22学級 在籍児童数 789名
	10日	給食室完成
昭和56年 3月		第1回卒業式を挙行する。（卒業生 192名）
	10月	開校記念植樹（800本）
昭和57年 1月		運動場に投げき板設置
	6月	中庭に学年別栽培園設置
昭和58年 11月		ランチルーム設置（南校舎2階西側）
	12月	花と造形の広場をつくる（中庭南側）
昭和59年 3月		岩石園・気象観測機器・禽舎等・理科学習園設置
	4月	育成学級が1学級増、2学級となる
	5月	修学旅行を野外教育センター「奥志摩みさきの家」に変更
	12月	陶芸窯設置（北校舎西倉庫内）
昭和60年 3月		運動場に「緑の山」設置
	4月	「フレンドリー活動」の推進校（2年間）
昭和61年 2月		音羽川の堤防に町別桜を植樹（PTA）
昭和62年 2月		「フレンドリー活動」推進校研究発表
		第1回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
	3月	「遊びの部屋」を設置
	4月	造形砂場設置（運動場西側）
昭和63年 9月		耐震用防火水槽埋設（運動場）
平成 元年 6月		中庭グリーンゾーン完成
		創立10周年の集い（児童会主催）全校で風船をあげる。 (音羽川学区誕生10周年記念事業委員会記念石碑建立)
	9月	全校内下水道配管工事完成
平成 2年 9月		器楽室の改築工事完成

		多目的室の改築工事完成
		会議室(ふれあいサロン)の改築工事完成
		和室の改築工事完成
平成 3年	2月	第5回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
	5月	5年生「野外教育活動」奥志摩みさきの家で実施
	11月	南校舎トイレ改築
	12月	卒業生「野外炊飯かまど」を作る（中庭西側）
平成 4年	3月	鳥小屋改修
平成 5年	5月	プール前広場の舗装
	6月	本館階段の手すり取付工事
平成 6年	3月	コンピュータルーム設置
	8月	本館大規模改修
平成 10年		体育館改修
	12月	プール改修
平成 11年	6月	音羽川小学校創立20周年記念式典 記念品贈呈
	12月	運動場改修工事・築山の完成
平成 12年	3月	コンピュータ機種更新
平成 14年	4月	完全2足制実施
平成 16年	1月	風力発電機設置 三層式水槽設置 百葉箱設置
平成 17年	2月	第19回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
平成 18年	7月	ビオトープ完成（体育館南側）
	8月	耐震工事完成
平成 19年	2月	第21回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
平成 19年	5月	ビオトープ周辺 芝生ランド完成・石碑の設置
平成 20年	10月	家庭科室前面改修工事完成
平成 21年	6月	音羽川小学校創立30周年記念式典 記念品贈呈
平成 22年	2月	第24回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
平成 23年	10月	山科区民 花の回廊募金による植樹式典 はなみずき（1本）植樹
平成 24年	3月	北校舎トイレ改修（1階・2階）
平成 25年	2月	全京都お話コンクールにおいて全学年6名入賞
平成 26年	12月	東校舎2階に科学の広場開設
平成 27年	2月	第29回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
平成 27年	4月	東校舎1階に四ノ宮児童館分室を設置
平成 28年	2月	第30回京都市小学生大文字駅伝大会に出場
平成 28年	7月	全校舎の全面リニューアル工事開始
平成 29年	2月	南校舎エレベータ設置、北校舎3階トイレ新設
平成 29年	3月	第31回京都市小学生大文字駅伝大会に出場 全校舎の全面リニューアル工事終了